

授業科目

社会福祉総論

担当教員名 徳田 昭彦	対象学年	1	対象学科	健栄
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	

授業の概要

- 1 社会福祉の理念と定義
- 2 日本の社会福祉の歴史
- 3 社会福祉の実際
- 4 社会福祉の権利擁護
について基礎的な学習をする。

授業の目的

- 1 社会福祉について、その意味と方法を学び、人間の多様な個性と可能性を理解する。
- 2 社会福祉を学ぶことによって、自分の人生を考えると、そのあり方について参考になることを理解する。
- 3 すべての人が社会福祉の担い手であり、同時に受け手であることを理解する。

学習目標

- 1 社会福祉が特定の問題を抱えた人たちに限定しない、すべての国民を対象にした制度とサービスであることを理解する。
- 2 社会や経済など多様な事象と関連した社会福祉の実際について理解する。
- 3 保健・医療・福祉の三分野に共通する権利擁護について理解する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	社会福祉とは何だろう	講義 社会福祉の理念と定義。社会福祉と生存権。少子化と高齢社会。	徳田 昭彦
2	日本の社会福祉の歴史	講義 戦後の社会福祉の成立と発展。	徳田 昭彦
3	貧困問題と公的扶助	講義 貧困の概念。子どもの貧困問題。公的扶助制度。	徳田 昭彦
4	児童福祉	講義 児童の権利擁護。児童虐待。施設養護。	徳田 昭彦
5	高齢者福祉	講義 進む高齢社会。介護保険制度。	徳田 昭彦
6	障害者福祉	講義 障害の概念。障害者福祉の理念。障害者福祉のサービス体系。	徳田 昭彦
7	地域福祉	講義 地域福祉の考え方。地域福祉の担い手。	徳田 昭彦
8	福祉サービス利用者の権利擁護。社会福祉と財源。	講義 権利擁護の仕組み 国の予算と社会福祉関係費	徳田 昭彦

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	社会福祉用語辞典(第9版)	山縣文治、柏女霊峰	ミネルヴァ書房	2013年	2,200円+税	
その他の資料						

評価方法

受講態度、リアクションペーパー成績、定期試験成績を評価する。

履修上の留意点

出席率が70%に満たない場合に説明を求めることがあります。

オフィスアワー・連絡先

授業内容の質問・相談がある学生は、所属学科・学年・学籍番号・氏名・用件を記入の上、office-hour@nuhw.ac.jpへご連絡ください。